

# 副市長レビュー（春）協議事項調書

1 部局名 (課名)	市民部文化振興担当 (美術館)	
2 協議事項 (案件名)	新浜松市美術館の基本構想策定について	
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館は1971年の開館から54年が経過。</li> <li>・常設展示室がなく、約7,000点の優れた館蔵品を十分に活用できていない。</li> <li>・来館者アンケートや美術館協議会において、カフェ等の休憩スペース、市民ギャラリー、隣接駐車場などの設置要望が多い。</li> <li>・2023年5月議会において黒田議員から「新美術館構想策定」について問われ「中・長期的な展望のもと新美術館の在り方を検討する」と市長答弁。</li> <li>・2025年5月議会において黒田議員から「新美術館構想策定」について問われ「庁内検討会議における検討を踏まえ、整備基本構想を作成し、必要な事業を進める」と副市長答弁。</li> <li>・2025年5月議会において平野議員から「新美術館整備地」について問われ「旧はまホール跡地は有力な候補地」と市長答弁。</li> </ul>	
4 検討経過・課題	<p>○検討経過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年11月副市長レビューにおいて、関係各課と協力体制を構築し、規模・機能など、浜松市にどのような美術館が必要か協議する庁内会議を立ち上げ、新美術館の在り方について、検討を進めている。</li> </ul> <p>○在り方・コンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の文化発信の拠点とするとともに、市民が文化や芸術と出会い、交流する場としての役割をもたせる。</li> <li>・浜松市美術館は市民へ様々なジャンルの芸術・文化を広く提供する施設であり、今後も継続していく方向。(人物や芸術・文化の分野を限定しない)</li> <li>・浜松市にとって適切な規模の美術館を目指す。</li> </ul> <p>○施設規模(現施設：約2,600㎡ 引佐収蔵庫：約437㎡)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室及び収蔵庫の増床を行うほか、カフェやショップ、市民ギャラリーなど休憩や交流スペースとして利用できるスペースを設置する。</li> <li>・そのほか講座室、資料室、事務室、トラックヤード等が運営上必要となる。</li> </ul> <p>○整備候補地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者アンケートでは約8割が中心市街地への立地を希望している。</li> <li>・中心市街地を候補とした場合、多くの文化施設が周辺にあることから、連携による相乗効果が期待できる。</li> <li>・郊外に候補地がある場合は比較・検討を行う。</li> </ul>	
5-1 方向性の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松市の美術館としての在り方、コンセプトの方向付けをするとともに、望ましい整備候補地、必要とする面積規模・機能等を策定するもの。</li> </ul>	
5-2 方向性決定に向け議論する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新美術館の整備候補地や面積規模・機能等を含む基本構想を令和8年度に策定することについて。</li> </ul>	
6 結果	<input type="checkbox"/> 提案どおり進める <input checked="" type="checkbox"/> サマーレビューで審議 <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <p>庁内検討会議において、新美術館整備に必要な検討を進め、基本構想の内容について整理すること。</p>
7 その他		